

きこえとことば通信

令和5年6月号
小金井第二小学校
こだま学級
Tel.042-385-3327

通級指導が始まって2か月ほどが経ち、1学期も終わりに近づきました。新しいクラスにも慣れ、遠足や社会科見学、移動教室などを体験し、学校生活を楽しく過ごしていることを嬉しく思います。在籍学級での様子やご家庭での様子の連絡帳へのご記入、送迎等、いつもありがとうございます。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

「こだま学級 指導経過報告書」について ※相談通級の場合は、ありません。

1学期の終わりに、在籍学級担任の先生を通して、各ご家庭に「こだま学級 指導経過報告書」をお渡しします。ご家庭で内容をご確認の上、コメントをお願いいたします。

2学期の通級初日に、こだま学級担当者に直接お渡しください。

全体グループ学習について

学期に一度、こだま学級に通っている児童が集まってグループ学習を行います。1学期は「こだま祭り」です。店員やお客になって、友達と関わり合いながら楽しく活動します。ご参加お待ちしております。

日 時：7月5日（水）
15：15～16：30
（受付は15：00～）

場 所：こだま学級 プレイルーム

個別相談会がありました

5月13日（土）こだま学級の個別相談会を行いました。

こだま学級の施設や指導で使っている教材をご覧いただいたり、個別の相談を実施したりしました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今回ご参加いただけなかった方も、こだま学級では、いつでも電話相談を受け付けております。気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

7・9月の予定



- 【7月】 4日（火）1学期個別指導終了
5日（水）全体グループ学習
個人面談開始～7月下旬
13日（木）吃音グループ学習
19日（水）きこえグループ学習

【9月】 4日（月）2学期通級開始



今の特集 ～ 吃音^{きつおん}について ～

吃音とは 吃音(きつおん=どもること)は、言葉がうまく出てこないことから生じる、コミュニケーションの困難さです。吃音がなぜ起こるのか、そのしくみは完全には分かっていません。しかし、親の育て方や子供の性格などは吃音の発症に関係しないことは明らかになっています。吃音が自然に消えていくのか、それとも長く続くことになるかは予測不可能です。ですから、「吃音が残っても困らないように」と考え、対応していくことが今できる最良の取り組みです。

吃音の進展（悪化）

くり返し（連発）

「あ、あ、ありがとう」

引き伸ばし（伸発）

「あ————りがとう」

ブロック（難発）

「…………っありがとう」

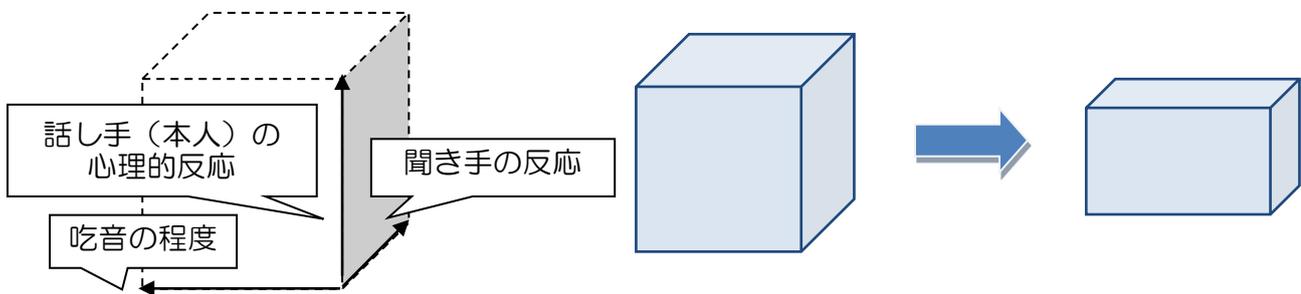


吃音のある子どもが、その子本来の自然なまもり方を出すまいとして、気を付けたり、工夫をしたりしていくと、無理をした、不自然で苦しい話し方になってしまいます。また、随伴症状(例)が表れるようになったり、言い換えや話す場を避けるようになったり、自尊心が低下したりするなど、本人の苦しさや悩みは大きく、深くなっていきます。

そのため、自然なまもり方で、安心して話すことができるよう、環境調整することが重要です。

「吃音ゼロ」は難しくても悩みの軽減は可能

吃音の程度＝悩みの数や大きさではありません。吃音の問題の大きさは3軸で作られる立方体の体積の大きさでとらえられます。



大人がしがちなアドバイス

- 話し方のアドバイス
「ゆっくり言ってごらん」「落ち着いて」
- 言い直し
「〇〇だね、もう一回言ってごらん」
- 言葉を先取りして言う

- 話をじっくり最後まで聞く。
- がんばっているプロセスを褒める。
- 話す内容に注目する。
- 吃音以外のよいところに目を向け、自信を育てる。

聞き手の反応を変えることが、問題を小さくする最善のルートです。どもっても否定的な反応がなければ、話し手の不安や落ち込みは減っていき、気にせずたくさん話しているうちに吃音の程度が軽くなることもあります。

話し方のアドバイスをしないほうがよいからと言って、吃音に関する話がタブーというわけではありません。自分の話し方に対して疑問や悩みがあるとき、ごまかさずに、そう感じたきっかけを確認したり、対応を考えたりして、向き合っていくことも大切です。

吃音について気になることがあれば、担任の先生やこだま学級へご相談ください。